

ドイツ NOW 1月号

国際交流委員 1年3組 上路理世 1年6組 杉浦暖人

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
さて1月号のドイツ NOW では、ドイツの Demir Saribeyoglu さんのお話をもとに、ドイツのお正月について取り上げました。
リアルなドイツのお正月を知って、興味をもってもらえると嬉しいです。

(1) ドイツでのお正月の過ごし方

ドイツでも1月1日は国民の祝日となっています。
大晦日には、首都ベルリンのブランデンブルグ門の前で大規模なカウントダウンパーティーが開かれ、生放送でテレビ放送されるそうです。
また、この日には花火が盛大に打ち上げられます。ドイツでは花火の販売が禁じられていますが、大晦日のみ、手打ち花火や爆竹などの花火の販売が許可されます。(武器のような花火で、毎年怪我人が出るのだとか…)



(2) ドイツのお正月の食事

ドイツでは、日本と同じようにお正月は家族で素敵な夕食を楽しみます。ドイツのお正月料理といえば、「Raclette(ラクレット)」だそうです。
ラクレットとは、とろとろのラクレットチーズをパンやジャガイモにかけて食べる料理のことを指します。
また、この料理はお正月だけではなく、人が集まったときや特別な日にもよく用意される料理でもあるそうです。
ラクレットはもともとスイスの料理。でも、ドイツでも人気があるそう…。



(3) ドイツの正月定番のテレビ番組

日本では、大晦日や正月には「紅白歌合戦」などといった定番のテレビ番組がありますが、ドイツには「Dinner for One」という番組があります。

これは寸劇コメディ番組で、60年近く国民から愛されているようで、過去に視聴率がドイツ人口の半数近くを記録したこともあります。

ドイツ語では、「Der 90. Geburtstag(90歳の誕生日)」というタイトルで、主人公が90歳の誕生日であることをテーマに話が展開されていきます。

家族で集まって見るのがお決まりで、もはや伝統の一つと言っているほど根付いています。



(4) 年明けを祝う生放送ショー

ドイツでは、壮大に新年を祝います。「騒がしい」の一言だそうです。それを象徴する一つとして、先ほど紹介しましたカウントダウンパーティーがあります。この行事は2kmにも及んで大規模に開催され、国民はベルリンのブランデンブルク門に集い、新年を祝います。

新年を迎えると人々は歌い、踊り、全力で楽しむそうです。実際の様子を見てみたいですね。



最後に

今回、ドイツの正月をテーマに調べ、私たちの住む日本とは違い、盛大に新年を祝うということを知りとても興味深かったです。

私は、特に「Dinner for One」が気になりました。(杉浦)

私は、新年に行う激しくて危険な花火に最も興味が湧きました。(上路)

このドイツNOW1月号でドイツに少しでも興味を持ってくれたら嬉しいです！